



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26学校だより No. 30

平成26年11月14日発行

4年生海外研修(アメリカ)出発 ～グローバルな視野を身に付けろ!～



11月9日(日)、4学年が本校の最大の行事であるアメリカ海外研修に出発しました。

本研修は、これまでの事前学習や授業で獲得した英語力を発揮する場であるとともに、グローバルな視野を身に付け、自分を成長させる絶好の機会です。この2週間の海外研修が、一生を左右する大きな刺激となることを期待しています。

出発式に際し、多くの4年生の保護者の皆様からお見送りいただき、ありがとうございました。涙ぐむ保護者の皆様も多数おられ、この2週間の海外研修は親子共々成長する機会でもあると感じました。

海外研修の主な行程の紹介

「日程」11月9日(日)～11月22日(土)

「研修先」アメリカ合衆国 ロサンゼルス

「宿泊」ホームステイ

「主な研修内容」

午前：語学研修 (Citrus College FLS)

午後：アクティビティー

- ・大学訪問 (UCLA)
- ・全米日系人博物館
- ・日系企業訪問
- ・現地高校訪問
- ・ショッピングモール
- ・カリフォルニアサイエンスセンター
- ・ディズニーランド訪問
- ・大学キャンパスでスポーツ



来週の主な予定

- 18日(火) ・オープンスクール
- 19日(水) ・入試事務説明会
- 21日(金) ・5年中間考査前部活動停止 (～12/2)
- 22日(土) ・4年生海外研修帰校 ・数学検定 ・6年代ゼミセンタープレ (看護大)



お知らせ

○オープンスクールについて 11月18日(火) 9:40～15:55
本校の普段の姿を参観しませんか! ぜひご来校ください。

○PTA合唱のお誘い(12月20日 上越文化会館) お申し込みは学級担任まで
ぜひ多くの皆様に参加していただきたいと思います。一緒に文化会館ステージで歌い、感動を共有しましょう!

全校集会講話

教 頭 萱森茂樹

昨日、4年生が、2週間のアメリカ研修旅行に旅立ちました。出発式では、少し雨もあたりましたが、4年生は元気よく出発していきました。アメリカ研修旅行は、本校の学校行事の中でも大きな節目となる行事と考えています。みなさんは、行事のたびに、いろいろな経験や挑戦をしていると思いますが、日本を離れての経験や挑戦という意味では、日常の当たり前というものが通用しない世界に行くということで、最大の挑戦にあたると思います。そのような挑戦を、高校1年生にあたる年齢でできるのは、本当に幸せなことではないでしょうか。

今回ここで話したいのは、みなさんも実は「旅」をしているということです。どういう旅かといえば、「リーダーシップへの旅」というものです。これは、最近私が読んだ本（光文社新書 野田智義・金井壽宏）のタイトルで、私が考えたものではありませんが、なるほどなあと共感するところがありましたので紹介します。内容は、タイトルが示すとおりリーダーシップについての筆者の考察が述べられているものです。おもしろいと感じたのは、筆者自身の経験です。筆者は、NPO法人でリーダーシップの塾を主宰している人ですが、学生時代は、「リーダー」あるいは「リーダーシップ」というものに何か違和感を覚えていて、自分以外の特殊な才能をもった人の世界のことと置いていたということです。もしかしたら、世の中の多くの人は、そんな風に感じているのかもしれない。

筆者の結論から言えば、「リーダーシップ」というものは、もちろん皆さん一人一人の中に潜在しているものであるということです。少し本の中身を紹介します。

本の中では、リーダーの成長プロセスとして3つの段階に分けて説明していました。

一つ目は、「リード・ザ・ピープル（人々をリードする）」

二つ目は、「リード・ザ・ソサイエティ（社会をリードする）」

これらは、世間一般に考えられていることだと思います。この筆者がユニークなのは、実はこれらの前の段階を考えているところです。さて、この筆者は、最初の段階として、「何をリードする」と述べていると思いますか。

徐々に「リード」する範囲が広がっていることに気づいた人は、もうわかったことだと思います。この筆者は、リーダーの成長プロセスの最初の段階を、「リード・ザ・セルフ」すなわち「自らをリードする」段階と説明しています。筆者の言葉を引用します。

「リーダーシップの素となるのは、能力やスキルではなく、人が自分自身の魂を磨く旅をする時にほかの人を感動させる何かだと思う。」

リーダーシップというと、一般には、人々をリードする、あるいは社会をリードする面が強調されています。私自身もそんなふう感じていましたが、この筆者の「自らをリードする、自分の魂を磨く旅」という視点は、なるほどなあと思いました。

話は変わりますが、11月7日にPTA便りが出されました。そこに寄せられた文面からは、1学期に行われた学校行事の中で、それぞれの立場で味わった苦労や、一つの物事を成し遂げた達成感、友達からうけた手助けへの感謝、自分たちを引っ張ってくれた先輩への尊敬の気持ちなどが読み取れました。それぞれの立場で、自分の責任を果たしながら、自分を磨くことができたのではないかと感じました。

最後に、みなさんにお願ひですが、先ほど紹介した本の筆者が、第1段階として提示する「自らをリードする」ということを、これからも自ら意識してください。そして、機会や必要に応じて周囲の人々を適切にリードできるように、「自分自身の魂」を磨いて、高めてください。生徒のみなさんには、それぞれ生活習慣を点検して、それぞれの学年の目標や自分の目標をしっかりと見据えて、自分自身の魂をいっそう磨くことができるような、そんな2学期を過ごしてもらいたいと思います。

1年生 小中合同音楽祭に参加 ～会場一杯に響く歌声～

「期日」11月7日（金） 13:30～15:50

「会場」上越文化会館大ホール

「合唱曲」 「妙高山に」 指揮：及川椋太 伴奏：井上泰一
「届けあえたら」 指揮：細野紗椰 伴奏：木原万智



小中合同音楽祭に、本校では1年生が学校を代表して参加し、以上の2曲の合唱を披露してきました。本音楽祭は、上越市内の小・中学校が音楽を通して交流を深めることが目的であり、学校規模や学校の特色がよく分かり、充実した音楽祭となりました。

3学年 職場体験学習 ～職業や進路を考える充実した3日間でした～

以下は職場体験学習にご協力いただいた事業所です。ありがとうございました。

【ご協力いただいた事業所】

- ・たちばな春日幼稚園 ・マハヤナ学園 ・中央保育園 ・上越北消防署 ・新潟労災病院
- ・真行寺幼稚園 ・聖母保育園 ・ホテルハイマート ・さいがた医療センター ・県立中央病院
- ・えがとおと虹の森ふもと ・上越科学館 ・e文具クリック ・TAKITA美容室 ・イチコ
- ・上越ケーブルテレビジョン ・上越タイムス ・高田幼稚園 ・イトーヨーカ堂 ・ナルス
- ・オオサカヤ ・スーパースポーツゼビオ ・マープル市原 ・ラ・ソネ菓寮 ・上越文化会館
- ・LA BISTORIA(ラ・ビストリア) ・ホテルセンチュリーイカヤ ・富寿司グループ ・水族博物館
- ・知遊堂 ・ケイワ総合マネジメント ・ホンダカーズ ・上越総合病院 ・大谷ビジネス
- ・けいなん病院 ・介護老人保健施設くびきの ・県立柿崎病院 ・自衛隊新潟地方協力本部
- ・高田図書館 ・東北電力